

**10月05日(取次搬入)発売予定!**

松本三之介 著

# 増補 明治思想史

## 近代国家の創設から個に覚醒まで

明治150年に贈る〈明治思想通史〉の決定版!

本書は1996年に新曜社から刊行された『明治思想史』を、刊行時には不十分であった本書の大きなテーマ＝「個の覚醒」について、明治150年を迎えるにあたって大幅な論考を付して刊行する増補版である。

増補した補論「夏目漱石の個人主義—思想の構造と特質」は、執筆枚数100枚に及び、専ら小説家として受容されてきた夏目漱石について、「私の個人主義」、「現代日本の開化」、「文学論」など文明批評的な作品を中心に、はじめて夏目漱石の思想的な側面を多岐にわたって分析した画期的な論考である。

松本 三之介 (まつもとさんのすけ) 著

1926年茨城県に生まれる。1948年東京大学法学部卒業。現在、東京大学名誉教授。

著書

『天皇制国家と政治思想』(1969年、未來社)

『国学政治思想の研究』(1972年、未來社)

『近代日本の知的状況』(1974年、中央公論社)

『近世日本の思想像 歴史的考察』(1984年、研文出版)

『明治精神の構造』(1993年、岩波現代文庫、岩波書店)

『明治思想における伝統と近代』(1996年、東京大学出版会)

『吉野作造』(2008年、東京大学出版会)

『近代日本の中国認識 徳川期儒学から東亜協同体論まで』(2011年、以文社)

『「利己」と他者のはざままで 近代日本における社会進化思想』(2017年、以文社)など、多数。

【目次】

- ・維新前夜の思想
- ・新しい国家構想を求めて
- ・自由民権の思想
- ・教育勅語をめぐる思想の相克
- ・「天下国家」から「生活」への視座の転換
- ・労働運動と国民国家
- ・自我の鼓動
- ・明治の終焉—乃木将軍の殉死
- ・「乱世的の革命」
- ・啓蒙的知識人の課題
- ・憲法制定の視想像
- ・平民主義・国粹主義・国民主義
- ・思想としての日清戦争
- ・初期社会主義の行動と思想
- ・苦悩する個—藤村操の投身自殺
- ・補論 夏目漱石の個人主義—思想の構造と特質

四六判 並製力バー装 344頁 本体価格:3,700円 (定価:3,996円)

希望陳列コーナー:現代思想・歴史

以文社 ISBN 978-4-7531-0348-5 C0010 本体価格:3,700円 (定価:3,996円)

帳合・番線	ご希望冊数	書名
		<b>増補 明治思想史</b> 近代国家の創設から個に覚醒まで 松本三之介 著

※指定配本の都合上**09月30日**までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。